

「しのぶえ特訓中!」

今年の夏も、^{わたくしたち}私^{ぶし}たち八木節クラブしのぶえチームは、^{こうみんかん}公民館で、「わた^{とつくん}らせしのぶえ同^{どうこう}好会」のみなさんに教えてもらいながら、しのぶえの特訓をしています。



今年の^{さんか}参加人数は、^{さいた}最多で8人。中学生も、わたらせ篠笛同^{しのぶえどうこう}好会正^{せい}式会^{かい}員^{いん}と^{さんか}なって参加しています。



「先生、これでいいの?」
^{こうし}講師^{かのう}の狩野先生は一人一人に
ていねい^{しどう}丁寧な指導をしてくれるので、
^{さんか}参加^{しや}者は^{あんしん}安心して^{れんしゅう}練習の
^{とりくめ}取り組みます。だから、上^{じょうたつ}達も早い。



1人1人よんで、音色や^{ゆび}指^{うごき}の動きをよく見てくれています。



今年の大きな特^{とくちよう}徴^{かろう}は、狩野先生
の指導^{しどう}を受けた後^{うけた}に、他^{ほか}の同好^{どうこう}
会^{かい}員^{いん}メンバーにも教えてもらっ
ているところかな。
中には、「勝負^{しょうぶ}！」とばかりに大
人と一^{いつ}緒^{しょ}に演^{えん}奏^{そう}する子も出てき
ました。



もう一つの特^{とくちよう}徴^{ぶし}は、八木節^{やまふし}クラブに入っていない子も参加^{さんか}していること。
篠^{しの}笛^{ぶえ}を吹^ふきたい子は意外^{いがい}とい^いるものですね。



子どもたちの練^{れん}習^{しゅう}の様^{よう}子^す、
そして、上^{じょう}達^{たつ}していく様^{よう}子^す
の影^{えい}響^{きやう}なのか、大人^{どうじん}同^{どう}士^し
でも教^{おし}え合^あいがさかんに行^いわ
れていました。

篠^{しの}笛^{ぶえ}演^{えん}奏^{そう}者^{しや}の数がどんど
ん増^ふえるといいですね。他^{ほか}の
学^{がく}校^{こう}の子も来^きるといいなあ。